

書籍発売決定！
書名決定！

『追想にあらず』

四六判・650ページ・2019年11月30日発売

■執筆者■

赤木志郎 魚本公博 小西隆裕 若林盛亮 森順子

重信房子 足立正生

足立鐘平 榎原均 大越輝雄 佐藤秋雄 新開純也 高原浩之 田中正治

中島慎介 成島忠夫 西浦隆男 三浦俊一 物江克男 八木健彦

1968～69年の闘争に身を投じた者たちが力を合わせ、最後の本を作っています。半世紀を経た現在、懐古でなく、追想でもなく、まして個人史としてでもなく、あの時代を振り返り、記録にとどめ、歴史に残したいと切望しています。

11月30日、講談社エディトリアルより発売決定、ぜひ多くの方に読んで頂けますようお願いしています。

協賛のお願い

本書は有志による自費出版です。ご協賛（カンパ）を頂ければ幸いです。

■お問い合わせ 090-9236-9148（三浦俊一）

■ご協賛金の送り先 京都中央信用金庫 カミカツラ 上桂支店（店番号 118）普通口座 0194210（モノエカツオ）

《協賛金申込書（FAX用）》 FAX番号 03-3382-3207

Eメール tomoco@yd5.so-net.ne.jp

2019年 月 日

ご協賛金 円

お名前

ご住所

※行き違いがありませんように、入金頂けましたら必ずFAXかメールでご住所・お名前・協賛金額をお知らせ下さい。

※本書の巻末にお名前を記載させてよろしければチェックをお願いします。お名前を記載 する しない

記載するお名前（仮名でも結構です）

『追想にあらず』 発刊によせて

1968—2019年における日本～世界のあらゆる闘いを熟視しながら、半世紀前の“闘争の時代”をを継続し、さらに未来を見つめ繋げてゆく——これが、本書名『追想にあらず』にこめた私たちの想いです。

あの時代を振り返れば時に苦痛と無念が心をよぎります。しかし、私たちは闘った、その意志を若き日の思い出、「追想」にすることはできません。闘いの個人史は階級闘争史の反映でもあるのです。米中・日韓関係が混沌となってきた今日はまたアジアの新しい時代の幕開けを予感させているともいえます。国内では格差と貧困が拡大し差別・排外主義が世相を覆っていますが、それらは一過性の世相でこそあれ、歴史を創り完結させることはありません。

新自由主義、グローバリズムの終焉がいわれる今こそ「追想」では決してない私たちの体験を書き遺さねばなりません。個人史の50年は、人類史的には瞬きに過ぎないのです。前に！ 前に！

出版発起人代表 三浦俊一

■執筆者

赤木志郎 (大阪市立大) 魚本公博 (関西大) 小西隆裕 (東大)

若林盛亮 (同志社大) 以上よど号メンバー、森順子 (平壤在住)

重信房子 (明大・日本赤軍)

足立鐘平 (桃山学院大) 足立正生 (日大芸術学部・映画監督)、榎原均 (京大)、大越輝雄 (立命館大)、

佐藤秋雄 (専修大)、新開純也 (京大)、高原浩之 (京大)、田中正治 (同志社大)、

中島慎介 (同志社大)、成島忠夫 (静岡大)、西浦隆男 (大阪市大)、三浦俊一 (関東学院大)、

物江克男 (滋賀大)、八木健彦 (京大)

■寄稿

太田昌国 (評論家、「現代企画室」編集長 著書『国家と戦争 異論』他)

酒井隆史 (社会学者、大阪府立大学教授 著書『暴力の哲学』他)

『追想にあらず』三浦俊一 編・著

講談社エディトリアル刊 11月30日発売

四六判 650頁 2,000部発行 定価 1,800円 (予定)

全国の書店、Amazon、Yahoo!ブックなどの通販でも取り扱いあり

出版発起人/三浦俊一 (代表) 榎原均 新開純也 高原浩之 物江克男 八木健彦 編集/小川智子

本書出版には、故人を含めて20数名の仲間たちが想いを書き下ろしています。この半世紀中で、おそらく最も誠実で最も史実をあらわした書物になると自負しています。かつての闘いの日々を記憶に留め、歴史に残し、後に続く人々に伝えたいとの願いをこめて編集しています。どうか、**ご協賛 (カンパ)** をいただけますよう、よろしく願いいたします！